

事業計画書

事業名	歴史を学び、地域を学ぼう	
実施場所	吉田温泉 沼津市吉田町 2-16	
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2025年 10月 1日 ~ 2026年 3月 31 日	

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

沼津のまちが、どういう戦後をむかえて、復興をはたしてきたのか。

沼津全域の地域ごとの特性を学びつつ、これまでとこれからの沼津について考えていくイベントを開催する。

また、会場となる吉田温泉は、1881年頃に、その名の通り、沼津市の吉田町で開業した銭湯であり、1945年に戦火により焼失したものの、1950年に再建。その後、2016年の営業休止まで戦後の沼津を歩んできた。その戦後の歴史を五感で感じ取ってもらい、沼津への理解を深める。このイベントは、資料展示に加えて、トークショー、フィルム上映及びパフォーマンスの実施も予定している。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

歴史と地域を学ぶことで、これからの中の未来をみんなで考えていくためのベースを作る。

ボトムアップのまちづくりという考え方があることを学んでいく。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
2025年 10~12月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 打合せ・飲食関係者への出店協力要請
2026年 1月	イベントの周知
3月	イベント当日

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

沼津の歴史を知ることで郷土愛の醸成し、その郷土愛をベースにした新たなまちづくり活動の担い手が育つことが期待できる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 参加者数 満足度	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 アンケート調査
------	--	---------	---------------------------------

◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。沼津の復興に尽くしてきた人々のたゆまぬ努力を理解し、今の生活に感謝するとともに、これから沼津について考える機会とする。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。「戦後の復興＝地域資源の有効活用」と考えており、この企画を通じて、沼津の地域資源についての理解を深め、その有効活用に繋げてもらうことを期待している。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。戦後まもなく造られた建物で、戦後の沼津の復興をテーマとした企画展を開催することで、沼津の歴史を知るだけでなく、感じてもらうことができ、より一層理解を深めることができる。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。2022年から定期的に展示会を開催（各展示会の期間中に延べ300～700名が来場）してきた実績がある。また、運営資金の確保のため、飲食関係者に出店の協力を仰ぐことも検討（これまでの展示会で出店した実績あり）。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。会場の吉田温泉に足を運んでもらい、吉田温泉そのものが一つの地域資源であることを知ってもらい、今後のリピーターとなってもらうことを期待する。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

今後はボトムアップのまちづくりをしたいので歴史から始まり現在のまちの状況やこれからのまちのありようなど、まちに対して言いたいことをフラットに言い合える場の提供していく。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。